

2027年2月期 中間決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年10月15日
上場取引所 東

上場会社名 リサイクルテック・ジャパン株式会社
コード番号 185A URL <https://www.r-t-j.co.jp/>
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 高取 美樹
問合せ先責任者（役職名） 取締役統括管理部長（氏名） 小山 昭美 TEL 052-355-9888
中間発行者情報提出予定日 2026年11月30日
配当支払開始予定日 —
中間決算補足説明資料作成の有無 : 無
中間決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2027年2月期中間期の連結業績（2026年3月1日～2026年8月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年2月期中間期	1,360	—	83	—	83	—	53	—
2026年2月期中間期	—	—	—	—	—	—	—	—

（注）中間包括利益 2027年2月期中間期 53百万円（—％） 2026年2月期中間期 ー百万円（—％）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年2月期中間期	43.74	—
2026年2月期中間期	—	—

（注1）潜在株式調整後1株当たり中間純利益については、希薄化効果を有する潜在株式が存在しないため、記載していません。

（注2）2026年2月期中間期については中間連結財務諸表を作成していないため、2026年2月期中間期の数値及び2027年2月期中間期の対前年中間期増減率を記載していません。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2027年2月期中間期	1,780	598	33.6	491.52
2026年2月期	1,884	545	28.9	447.78

（参考）自己資本 2027年2月期中間期 598百万円 2026年2月期 545百万円

2. 配当の状況

	年間配当金		
	中間期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭
2026年2月期	0.00	0.00	0.00
2027年2月期	0.00		
2027年2月期（予想）		—	—

（注1）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

（注2）2027年2月期の期末及び合計の配当金額は未定であります。

3. 2027年2月期の業績予想（2026年3月1日～2027年2月28日）

（％表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	2,708	12.3	72	—	86	—	52	—	42.73

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2027年2月期中間期	1,218,000株	2026年2月期	1,218,000株
② 期末自己株式数	2027年2月期中間期	ー株	2026年2月期	ー株
③ 期中平均株式数 (中間期)	2027年2月期中間期	1,218,000株	2026年2月期中間期	1,218,000株

※ 中間決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる場合があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当中間決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当中間決算に関する定性的情報

当社グループは、前連結会計年度末より連結財務諸表を作成しているため、前中間連結会計期間との比較分析を行っておりません。

（1）経営成績に関する説明

当中間連結会計期間（2026年3月1日～2026年8月31日）におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に個人消費に持ち直しの動きが見られる等、穏やかな回復基調で推移しました。一方で、中東情勢を始めとする地政学リスクの緊迫化に伴うエネルギー・原材料価格の高止まりや為替相場の変動、米国の通商政策の動向や人件費上昇に伴うコストの増加など、先行き不透明な状況が続いております。

このような市場環境・経済環境の中で、当中間連結会計期間の売上高は1,360,015千円、営業利益は83,608千円、経常利益は83,529千円、親会社株主に帰属する中間純利益は53,277千円となっております。

なお、当社は、遊技機リサイクル・リユースを主体とするリサイクル・リユース事業を行っており、単一セグメントであるため、セグメント別の業績等の記載を省略しております。

（2）財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

（流動資産）

当中間連結会計期間末における流動資産の残高は1,274,031千円で、前連結会計年度末に比べ110,557千円減少しております。主な減少要因は売掛金の減少91,369千円、電子記録債権の減少51,276千円等、主な増加要因は現金及び預金の増加17,701千円等であります。

（固定資産）

当中間連結会計期間末における固定資産の残高は506,112千円で、前連結会計年度末に比べ5,704千円増加しております。主な増加要因は保険積立金の増加22,939千円等、主な減少要因は繰延税金資産の減少8,593千円等であります。

（流動負債）

当中間連結会計期間末における流動負債の残高は443,590千円で、前連結会計年度末に比べ47,937千円減少しております。主な減少要因は未払金の減少40,930千円、1年内返済予定の長期借入金の減少29,932千円、買掛金の減少22,266千円等、主な増加要因は未払法人税等の増加16,550千円、未払消費税等の増加15,861千円等であります。

（固定負債）

当中間連結会計期間末における固定負債の残高は737,884千円で、前連結会計年度末に比べ110,192千円減少しております。主な減少要因は長期借入金の減少108,362千円等であります。

（純資産）

当中間連結会計期間末における純資産の残高は598,669千円で、前連結会計年度末に比べ53,277千円増加しております。その増加要因は親会社株主に帰属する中間純利益53,277千円の計上による利益剰余金の増加であります。

②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）の残高は973,115千円（前連結会計年度末比117,701千円増加）となりました。各キャッシュ・フローの状況とその主な要因は以下の通りであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果獲得した資金は200,790千円となりました。主な増加要因は売上債権の減少額142,646千円、税金等調整前中間純利益の計上83,384千円、減価償却費19,212千円、未払消費税等の増加額15,861千円等、主な減少要因は未払金の減少額37,289千円、仕入債務の減少額22,266千円、棚卸資産の増加額14,813千円等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果獲得した資金は60,618千円となりました。主な増加要因は定期預金の払戻による収入150,000千円等、主な減少要因は定期預金の預入による支出50,000千円、保険積立金の積立による支出23,193千円、有形固定資産の取得による支出16,255千円等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は143,706千円となりました。主な減少要因は長期借入金の返済による支出138,294千円等によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、遊技機業界への客足は緩やかに回復し、新台への入替えに伴う廃棄台処理需要も徐々に回復してくるものと思われます。

当社は、サーキュラーエコノミーへの転換における循環ビジネスへの一翼を担う企業として、遊技機リサイクル・リユース事業のみならず、他業界の企業との業務提携や取引展開等を積極的に推進し、事業領域の拡大と持続的成長のための機能強化・基盤強化に取り組んでまいります。

2027年2月期の通期連結業績予想につきましては、2026年4月14日に公表した数値に変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年 2 月 28 日)	当中間連結会計期間 (2026年 8 月 31 日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,008,413	1,026,115
売掛金	245,391	154,021
電子記録債権	61,886	10,610
製品	16,637	26,745
原材料及び貯蔵品	28,747	33,453
未収還付法人税等	3,516	176
前払費用	15,563	20,621
その他	4,887	2,342
貸倒引当金	△453	△53
流動資産合計	1,384,589	1,274,031
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	77,096	76,639
機械装置及び運搬具（純額）	109,229	109,608
工具、器具及び備品（純額）	12,005	12,069
リース資産（純額）	11,127	8,638
有形固定資産合計	209,458	206,955
無形固定資産		
のれん	89,078	84,430
ソフトウェア	6,471	4,915
その他	1,292	1,292
無形固定資産合計	96,843	90,639
投資その他の資産		
保険積立金	50,233	73,172
敷金及び保証金	63,736	64,059
繰延税金資産	78,458	69,864
その他	1,677	1,421
投資その他の資産合計	194,106	208,517
固定資産合計	500,407	506,112
資産合計	1,884,997	1,780,144

リサイクルテック・ジャパン株式会社 (185A)
2027 年 2 月期 中間決算短信 [日本基準] (連結)
(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年 2 月 28 日)	当中間連結会計期間 (2026年 8 月 31 日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	64,029	41,763
1 年内返済予定の長期借入金	261,634	231,702
リース債務	5,445	5,084
未払金	94,523	53,592
未払費用	24,432	32,294
未払法人税等	4,827	21,378
未払消費税等	8,244	24,105
契約負債	9,937	10,213
預り金	5,088	5,392
賞与引当金	13,364	18,064
流動負債合計	491,528	443,590
固定負債		
長期借入金	772,845	664,483
リース債務	6,866	4,498
退職給付に係る負債	41,949	42,486
資産除去債務	25,666	25,666
その他	750	750
固定負債合計	848,077	737,884
負債合計	1,339,605	1,181,475
純資産の部		
株主資本		
資本金	77,518	77,518
資本剰余金	2,518	2,518
利益剰余金	465,354	518,632
株主資本合計	545,391	598,669
純資産合計	545,391	598,669
負債純資産合計	1,884,997	1,780,144

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

① 中間連結損益計算書

(単位：千円)

	当中間連結会計期間 (自 2026年 3 月 1 日 至 2026年 8 月 31 日)
売上高	1,360,015
売上原価	1,030,669
売上総利益	329,346
販売費及び一般管理費	245,737
営業利益	83,608
営業外収益	
受取利息及び配当金	2,029
受取賃貸料	4,675
その他	928
営業外収益合計	7,633
営業外費用	
支払利息	7,366
その他	345
営業外費用合計	7,712
経常利益	83,529
特別損失	
固定資産除却損	145
特別損失合計	145
税金等調整前中間純利益	83,384
法人税、住民税及び事業税	21,512
法人税等調整額	8,593
法人税等合計	30,106
中間純利益	53,277
親会社株主に帰属する中間純利益	53,277

② 中間連結包括利益計算書

(単位：千円)

	当中間連結会計期間 (自 2026年 3 月 1 日 至 2026年 8 月 31 日)
中間純利益	53,277
中間包括利益	53,277
(内訳)	
親会社株主に係る中間包括利益	53,277

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当中間連結会計期間 (自 2026年 3 月 1 日 至 2026年 8 月 31 日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前中間純利益	83,384
減価償却費	19,212
のれん償却額	4,647
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△400
賞与引当金の増減額 (△は減少)	4,700
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	536
受取利息及び受取配当金	△2,029
受取賃貸料	△4,675
支払利息	7,366
固定資産処分損益 (△は益)	145
売上債権の増減額 (△は増加)	142,646
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△14,813
仕入債務の増減額 (△は減少)	△22,266
未払金の増減額 (△は減少)	△37,289
未払消費税等の増減額 (△は減少)	15,861
その他	10,186
小計	207,210
利息及び配当金の受取額	2,029
利息の支払額	△7,293
法人税等の支払額	△4,827
法人税等の還付額	3,671
営業活動によるキャッシュ・フロー	200,790
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△50,000
定期預金の払戻による収入	150,000
有形固定資産の取得による支出	△16,255
保険積立金の積立による支出	△23,193
その他	67
投資活動によるキャッシュ・フロー	60,618
財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入金の返済による支出	△138,294
長期未払金の返済による支出	△2,684
リース債務の返済による支出	△2,728
財務活動によるキャッシュ・フロー	△143,706
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	117,701
現金及び現金同等物の期首残高	855,413
現金及び現金同等物の中間期末残高	973,115

（４）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。